

「東京都環境基本計画のあり方について（中間のまとめ）」に関する意見公募結果等について

結果概要

■ 受付期間 5/25（水）～6/24（金）

■ 意見総数 207通

戦略	主な意見の要旨
戦略0 エネルギー 安全保障	<ul style="list-style-type: none"> ・電力の安定供給は東京電力の責務であり、東京電力に対し株主として対応を求めるべき。 ・節電要請を都民に押し付けるべきではない。
戦略1 ゼロエミッション の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー大消費地である東京都で、国に先んじて再生可能エネルギーの基幹エネルギー化を大いに進めて欲しい。 ・電力のピークを抑えるため、ヒートポンプ給湯器を活用すべき。 ・地域工務店等によるゼロエミッション住宅建築を促進すべく、脱炭素化設備に関する情報提供や資材調達・技術習得支援について検討すべき。 <p>※その他、条例改正に係るご意見</p>
戦略2 生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系への影響も少なくなるため、緑化には地域の在来種を使うことが望ましい。 ・これ以上緑をなくさず、現存する木々や緑を保ちながらの都市改革を東京に求める。
戦略3 良質な 都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ・小型家電に内蔵されている充電電池を分解してリサイクルできるようにしてほしい。 ・災害発生時の廃棄物の円滑な処理のために、平時からの準備を関係者間で合意しておくべき

環境基本計画答申（案）への主な反映事項（中間まとめ以降の変更点）

①電力ひっ迫など社会経済状況を踏まえた対応

- エネルギー等対策本部会議やHTT・ゼロエミ推進協議会での議論を
戦略0にアップデート

②再エネ電力利用割合の2026年目標

- 2030年の目標達成に向けた**中間目標**として**2026年「再エネ電力利用割合30%」**を設定

③パブコメ意見や関連審議会での議論

- **電力のピークカット**や**太陽光パネルのリサイクル**に係る取組などパブコメ意見を反映
- 自然環境保全審議会における**生物多様性地域戦略**に関する議論を反映

<目指すべき都市の姿>

- ✓ 深刻化する**気候危機・生物多様性**の損失や**感染症、エネルギー危機**を克服
- ✓ **サステナブル・リカバリー**により、50年、100年先も豊かで**持続可能な都市**を創造

「成長」と「成熟」が両立した、持続可能で、安心・安全、快適な

「未来を拓くグリーンでレジリエントな世界都市・東京」を目指す

- Global, Green & Resilient City - create a brighter future for all -

<目指すべき姿を実現するための3 + 1の「戦略」>

戦略0 危機を契機とした脱炭素化とエネルギー安全保障の一体的実現

- **気候危機とエネルギー危機は一体の課題**であり、一刻の猶予もない。
 - ✓ 総力戦で**「H T T（減らす・創る・蓄める）」**の取組を推進



エネルギー安全保障の観点からも不可欠な**脱炭素化施策**を抜本的に強化・徹底
カーボンハーフに向けた道筋を明らかに

戦略1 エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現

- 脱炭素とレジリエンス確保を同時に実現する①再エネの基幹エネルギー化等
 - ✓ ①PV・①EV充電器設置、④断熱・省エネ性能の義務化等によるゼロエミッション化
 - ✓ 2030年50%の**中間目標**として、**2026年「再エネ電力利用割合30%」**を設定
 - ✓ ①ZEV化の加速や再エネ拡大・エネ安定供給に資する①①**水素利用の更なる促進**
- 持続可能な消費・生産、サーキュラーエコノミーへの転換

戦略2 生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現

- 生物多様性の**保全と回復**、**持続的な利用**、**理解と行動変容**に資する施策の推進
 - ✓ 生物多様性を回復軌道に乗せる = **ネイチャーポジティブの実現**
 - ※ **生物多様性地域戦略改定**に係る自然環境保全審議会の議論の内容を反映

戦略3 都民の安全・健康が確保された、より良質な都市環境の実現

- 世界の大都市で**最も水準の高い良好な大気環境**の実現
- **化学物質等によるリスクの低減**
- **強靱な廃棄物処理体制の確立** 等

➡ **3 + 1の「戦略」に基づく取組を横断的・総合的に推進し、実効性を向上**